



岐阜県政記者クラブ加盟社各位



令和8年1月7日(水) 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
病害虫防除所	企画情報係	鈴木	直通 058-239-3161 FAX 058-234-0767
農産園芸課	ぎふ清流GAP 推進係	猪原 増田	内線 4115 直通 058-272-8428 FAX 058-278-2692

## みんなで考える病害虫対策セミナー ～トマトキバガとコナジラミ類の生態と防除～を開催

県では、農業生産に被害を与える病害虫の侵入や発生状況等を調査し、情報発信しています。

近年の激しい気象変動は、海外からの新たな病害虫の侵入、被害の多様化及び長期化等の恐れがあり、昨年も様々な農産物の収量・品質に影響が生じました。

そこで、現在、問題となっている病害虫を中心に、発生状況や防除対策について知見を深めるとともに、効果的な方策を協議・検討することを目的に、下記のとおりセミナーを開催します。

### 記

#### 1 日 時

令和8年1月14日(水) 13:15~16:00

#### 2 場 所

飛騨総合庁舎 2階 中会議室 (高山市上岡本町7-468)

#### 3 内 容

13:15~13:20 開会

13:20~14:35 コナジラミ類の生態と対応・対策

講演: タバコカスミカメの基礎生態と施設トマトにおける利用のポイント

静岡県農林技術研究所 中野 亮平 氏

報告: 岐阜県のコナジラミ類の発生動向と分類

岐阜県病害虫防除所 鈴木 直人

14:35~14:50 今年度の発生予察事業の経過と実績について

報告: チョウ目(ハスマンヨトウ、オオタバコガ)の発生予察と被害

岐阜県病害虫防除所 神谷 克巳

15:00~15:30 トマトキバガの発生特性と対策

報告: 飛騨地域におけるトマトキバガの生態と被害及び対策について

岐阜県病害虫防除所 坂田 勲

15:30~16:00 意見交換

#### 4 参加者 生産者、病害虫防除員、JA、国、県 約60名

### <病害虫防除所>

病害虫防除所は、植物防疫法（昭和25年5月4日制定 法第151号）第32条に基づき、地方における植物の検疫及び防除に資するため各都道府県に設置され、主要な事務は植物の検疫、防除の企画や指導と協力、病害虫の侵入調査や発生予察調査等になります。本県は、岐阜県農業技術センター内に設置しています。

### <コナジラミ類>

1mm程度の白い微小昆虫で、吸汁害により品質低下や生育阻害を生じさせることに加え、ウイルス病媒介を引き起こす重要害虫です。特に施設栽培で問題となり、薬剤抵抗性が発達しやすく、防除が難しいことが特徴です。

### <タバコカスミカメ>

コナジラミやアザミウマなどの微小害虫を捕食する天敵昆虫（益虫）で、体長約3mmのカメムシです。植物の汁も吸うなど雑食性ですが、害虫を捕食する能力に優れ、生物農薬として利用されています。

### <ハスモンヨトウ>

幼虫はダイズや野菜、花き類など様々な作物を食害する広食性の重要害虫です。岐阜県では特に夏から秋にかけて被害が増加する傾向にあります。幼虫が葉を食害して葉脈を残して白いカスリ状や穴だらけにすることで、収量・品質低下を引き起こします。

### <トマトキバガ>

南アメリカ原産の小型の蛾の一種で、ナス科作物に深刻な被害を与える「新発生」の農業害虫です。繁殖力が非常に高く、風に乗って長距離を移動します。幼虫が茎葉や果実内に潜り込んで食害をすることにより、果実品質の低下を引き起こします。岐阜県内では2023年に初めて確認されました。